



まず枠組み足場を組んでいきます。
近隣の方への配慮と施工スタッフの安全を確保します。
三階建てのおうちなので足場も高くなりますね！



施工前の様子。
屋根の一番上にある棟板金と貫板を交換します。



金属の板を棟板金といい、その下にある下地を貫板といいます。



板金は年数がたつと劣化し、強風で浮いてしまいます。
ひどいときは剥がれてしまうこともあります。
そのままにしておくと腐食し雨漏りの原因にもなります。



まず既存の棟板金を剥いていきます。
下地の貫板が見えてきました。



貫板を交換する前。



下地の貫板を剥し終わりました。



貫板を剥すと釘の穴があります。
コーキングで釘の穴を補修します。
穴が開いたままだとそこから水が浸入してしまいます。
なので、完全に塞ぎます。



新たに貫板を設置していきます。
コーキングした後、ビスを止めていきます。



ビスにコーキングが絡み、防水にもなります。



貫板が設置されたら、棟板金を取付けていきます。



丁寧に釘を打ちます。



棟板金の設置が完了しました。
(雨水が浸入しないようコーキングは貫板にしています。)



完成の様子。



つぎに外壁の目地も修理します。



施工の様子。



既存の目地を撤去しました。
コーキング施工が綺麗に仕上がるよう、
マスキングテープを貼ります。



目地のコーキング仕上げが完了しました。



施工が終わったので足場を解体していきます。



慎重に解体している様子。



完成了ました。



完成了ました。